

令和7年1月8日

保護者の皆様

マルガリタ幼稚園
園長 近江谷 綾音



新年明けましておめでとうございます

年末・年始、皆さん元気にお過ごしでいらっしゃいましたか。

今日から3学期がスタートしました。とても短い学期です。登園日は45日という日数です。残りの日々を、感謝しながら過ごしていきたいと思っています。

寒さは続きますが、少しずつ春を待っている木々の様子も見られます。木々が芽吹く時、子どもたちはどんな成長をしているのでしょうか。

先日、年中組、年少組、いちご組さんは、花壇にチューリップの球根を植えました。球根の姿では何色のお花が咲くのか、どんな形のチューリップが咲くのか、全くわかりません。でも、どんなお花が咲くのか未知の楽しみがあります。子どもたちも一緒です。ひとりひとりの子どもたちのひとりひとりの成長を見守ることが出来ると良いですね。いろいろな意味での希望への歩みの日々を、明るく元気に過ごしたいものです。

本年も皆様ご家族とマルガリタ幼稚園に関わる全ての方々の上に、神様の祝福がありますよう心から祈っております。どうぞよろしく願いいたします。



1) マルガリタ文庫について

開館日は、1月8日（水）です。

2) 創立記念日について

1月12日(日)は、マルガリタ幼稚園の創立記念日です。
幼稚園の表門(ピンク門)から入って、右側のひよこ組の横にありますご像が、
聖マルグリット・ブールジョワです。マルガリタ幼稚園は、この創立者の名前を
いただいて名付けられました。詳細は、別紙をご覧ください。

3) 新入園児入園前保護者会について

1月22日(水) 13時30分受付開始です。
お子様とご一緒の場合は、教職員が保護者会の間、お子様をお預かりいたします。
現在、いちご組に在園している方もご参加ください。

4) 誕生会と絵本の会のお母さま方による絵本クイズについて

1月29日(水) 10時からホールにて。
1月生まれの園児の保護者の方は、いらしてください。(保護者2名、未就園児)
この日は、絵本の会のお母さま方が絵本クイズをしてくださいます。
観覧希望の方は、ぜひいらしてください。

5) 保育参観と講演会について

1月31日(金) ※この日は、午前保育です。預かり保育はありません。
9時30分～10時20分 保育参観(各保育室にて)
10時25分～11時25分 講演会(ホールにて)

【講演会について】

講師：塩山 さおり先生

マルガリタ文庫の先生としておなじみの塩山先生ですが、絵本講師として、調布市内の公民館などでワークショップをしたり、絵本展示を行ったりして活躍されています。

演題：「親子で絵本を楽しみましょう」

～子どもは、お母さんやお父さんのことばから学ぶ～

絵本は、大人と子どもを結ぶものです。触れ合いながら楽しむことの大切さをお話ししていただきます。

6) 作品展について

2月12日(水)～14日(金) 詳細は、後日改めてお知らせします。

7) 個人面談について

2月12日(水)～14日(金) 13時30分から。

- ・この期間は、**午前保育**です。
- ・日時と期間中の預かり保育についてなどの詳細は後日お知らせいたします。
- ・この期間中に、どうしても都合のつかない日がある方は、**1月17日(金)**までに担任にメモでお知らせください。



- ・感染症の感染拡大予防のため、保育室の換気を定期的に行います。
下着などで保温ができるよう工夫をしてください。
- ・青門の植え込みやマリア像のところには登らないでください。



【 創立者 : 聖マルグリット・ブールジョワについて 】

マルグリット・ブールジョワは、1620年、フランスのトロワ市で生まれました。

1640年、20歳になったマルグリットは、ロザリオの行列中に大聖堂のマリア像に目を留めた時に、石像が美しく輝いて見え、そこからすっかり彼女の内面は変わり、神に生涯を奉献すること以外に何も望むことがないことに気が付きました。

1653年ヴィル・マリー (マリアの町) 現在のモンリオールの子どもたちや女性の教育のため、当時のカナダの知事ド・メゾンヌーブ氏に招かれて単身で大西洋を渡りました。

1658年石造りの家畜小屋を改造して、初めての学校を設立しました。マルグリット・ブルジョワは、イエスが馬小屋でお生まれになられたように、家畜小屋で学校を始められることを大変喜びました。

また、1678年には初めての石造りの聖堂が完成し、『よき助けの聖母聖堂』（ノートルダム・ド・ボンスクール教会）と名付けられました。これらの学校や教会は今でもカナダのモントリオールで大切にされています。

聖マルグリット・ブルジョワが晩年私たちに強く望み続けてきたことが、彼女の手記の中で次のように記されています。

「まことに、私が今まで熱烈に望み続けてきたこと、そして今も切に望んでいることは『すべてに越えて神を愛し、自分を愛するように隣人を愛しなさい』という大いなる掟が全ての人の心に刻まれることです」と。

創立者の精神に倣い、日々の保育に活かしてまいりたいと思っております。



『よき助けの聖母聖堂』（ノートルダム・ド・ボンスクール教会）

※昔の船乗りたちが航海の安全を祈って船の模型を奉納したことから、

別名「船乗りの教会」と呼ばれている。

左：マルグリット・ブルジョワの眠るお墓 右：ボンスクール教会の入り口